昆虫クイズ　２０１９．９月　回答例とミニ解説

１　次の昆虫の名前を答ください。標本が博物館内にあります。探してみましょう。

[　ヨナグニサン　　]

[　ノコギリクワガタ　]

[　アケビコノハ　]

[　アゲハ（アゲハチョウ）]

[　アオカナブン　　]

[　ヨツスジハナカミキリ　]

○ヨナグニサン

国内最大、世界最大級の蛾（が）で、沖縄県八重山諸島（やえやましょとう）に生息（せいそく）しています。与那国島（よなぐにじま）で発見されたのが名前の由来（ゆらい）です。博物館の標本は、前翅長（ぜんしちょう：まえばねの付け根から先まで長さ）が、約１２センチです。メスのほうがオスよりも大型です。

○アケビコノハ

翅（はね）をたたんでいると、枯れ葉（かれは）にそっくりです。幼虫はアケビやミツバアケビなどの葉を食べます。博物館で幼虫（ようちゅう）を飼育しました。

○アゲハ

幼虫はサンショウやミカン科の葉を食べます。写真は博物館の庭にいた幼虫を飼育し、羽化（うか：さなぎから成虫になる）したものです。

○ヨツスジハナカミキリ

花によく集まるカミキリムシです。黄色に黒の４本のしま（すじ）はよく目立ち、飛んでいる姿はハチによく似ています。

２　次の３択クイズの正しいものは何番ですか。まるをつけてください。

ア　地球上の生き物で最初に空を飛んだ生き物は？　[　①翼竜（恐竜）　②昆虫　③鳥　]

○約５億年前に海から陸上に植物が進出しました。植物に次いで陸上に進出したのは昆虫（の祖先）です。そのころは翅（はね）が生えておらず空も飛べませんでしたが、地上に天敵はいませんでした。その後両生類や爬虫類（はちゅうるい）等捕食者（ほしょくしゃ：昆虫を食べるもの）が現れました。昆虫は捕食者から逃げるために空を飛ぶようになりました。その後翼竜のように空を飛ぶものも現れました。

イ　セミの仲間でないのはどれ？　[　①ソノヒグラシ　②アブラゼミ　③ツクツクボウシ　]

ウ　アメンボは水に浮かぶことができますが、それは脚の形と何によるものでしょうか？

[　①風力(ふうりょく)　②念力（ねんりき）　③表面張力（ひょうめんちょうりょく）]

エ　昆虫の６本の脚はどこから生えていますか？　[　①　胸と腹　②　胸　③　腹　]

〇昆虫の体の特徴（とくちょう）

昆虫は、「頭」「胸」「腹」の３つの部分に分かれ、大人になるとに胸の部分の３つに分かれた体節（たいせつ）に、２本づつの脚（あし：全部で６本）をもっています。

オ　生物が身を守ったりするために何か別のものに姿や色などを似せることをなんといいますか？　[　①　擬態（ぎたい）　②　変態（へんたい）　③　変身（へんしん）　]

〇擬態（ぎたい）　（まねて隠れる？　まねて目立つ？）

アケビコノハのように周りのものを<u>まねて隠れる</u>場合と、ヨツスジハナカミキリのようにハチを<u>まねて目立って相手に近寄らせないようにする</u>（警告する）場合があります

カ　世界にほ乳類は４千数百種いるといわれています。では昆虫の種類はどのくらい？

[　①　１万種　②　１０万種　③　１００万種以上　]

３　次の漢字はなんと読むでしょうか？

③　蜩（日暮）〔　ヒグラシ　〕　②　花潜〔　ハナムグリ　〕

③　深山鍬形〔　ミヤマクワガタ　〕

〇漢字であらわすとよくわかる？

生物の名前はカタカナであらわすのが一般的ですが、漢字であらわすとその名前になったわけ（由来）がわかりやすくなる場合があります

・ミヤマ→「深山」　山で見られることが多い
ミヤマシロチョウ、ミヤマカミキリ、ミヤマハンミョウ、ミヤママルハナバチ
植物にもミヤマカタバミ、ミヤマスミレ、ミヤマハコベなどがあります

・ハナムグリ→「花潜」　花によく集まります（もぐる）
シロテンハナムグリ、アオハナムグリ、ムラサキツヤハナムグリなど